

Sinopsis

「十四才の母」と言うテレビドラマの十代女性に妊娠影響。

序論

この研究は「14才の母」のテレビドラマの主人公と社会の間の社会的相互作用についてを説明する。このテレビドラマは14歳に妊娠したみきという主人公についてを語る。14歳に妊娠する場合は珍しいから、他の性格からの様々な反応が行った。それで、この研究の目的は主人公の逸脱した動作、主人公に対する社会の反応、主人公に受ける行動である。

この研究は社会的相互作用理論を使い、記述的な分析方法を使う。この研究の使い理論は Bonner によって提唱された社会的な相互作用理論である。それは二人、それとも二人以上の人間関係理論である。その人は他の人の行動に影響されて、それとも変化されて、それとも改善される。

本論

このテレビドラマで、14歳に妊娠したことは社会的に逸脱なことと呼ばれる。理由は14歳の女の子の生殖器官が大人の生殖器官のようなではない。14歳の生殖器官はまだ完璧ではないから。それで、14歳に妊娠したら、健康を危険にさらすことができる。

みきという主人公の14歳に妊娠したの逸脱原因はみきの両親が毎日忙しすぎていて、親子のコミュニケーションが極小になる。みきと両親

のコミュニケーションはあまりよくないから、みきはよく寂しい感じるが現れた。そのせいで、みきとさとしはセックスしてしまった。

このテレビドラマで14歳に妊娠した場合は珍しいことで、その妊娠に様々な反応がほかの性格から現れた。この研究で会的相互作用理論で研究されたものは社主人公と社会の間、例えば主人公と家族の会的相互作用、主人公と学校の会的相互作用、そして主人公と社会の会的相互作用である。

社会的相互作用の例えば：

1. 社会的相互作用の葛藤は6つがある。例えば：
 - 学校は主人公を退学させたい。主人公は学校の名声を汚ます。
 - 学校の友人は主人公が拒む。学校の友人の意見が学生は妊娠するに値しない。
2. 社会的相互作用の支持は3つがある。例えば：
 - 主人公のお母さんは主人公が選んだは何でも、お母さんはいつも支える。
3. 社会的相互作用のアコモデーションは5つがある。アコモデーションは誰も破壊することなく紛争を解決する。例えば：
 - 主人公のお母さん:お母さんはお父さんが主人公の妊娠が嫌がる、しかしお母さんはいつもお父さんと説明する。
4. 社会的相互作用の同情は7つがある。例えば：
 - 主人公の生活は面白いから、記事で記者は主人公の妊娠を書きたい。初めは記者が主人公が嫌がる、しかし記者はほとんど

毎日主人公を付きまとうから、記者は主人公に同情する。主人公を娩出したい時この記者が主人公を手伝う。

5. 社会的相互作用の助言は2つがある。例えば：

- 主人公のお父さんはいつも主人公が子供ができない。主人公はまだティーンエイジャー。娩出したい場合は主人公が準備ができていないと言うから初めて主人公を流産したい。

6. 社会的相互作用の指摘は2つがある。例えば：

- 主人公と主人公のお母さんのためにとても貴重があるならと言う。お母さんの言葉を聞く、主人公は主人公の子供もとても貴重から主人公を娩出したい。

7. 社会的相互作用の模倣は1つがある。例えば：

- 模倣は指摘のせいで起こり得る。

結論

主人公が受けた反応は主人公に影響する。初めてお父さんの言葉のせいから主人公は流産したい。しかし、最後に主人公は子供を産みたい。主人公は主人公のお母さんに愛されているように主人公の子供が愛されてほしい。ここで社会的相互作用が他の個人に影響を及ぼし得ることを証明する。研究の結論に基づくは社会は違いと変化を受け入れるのが難しい。社会的に逸脱する人がいる時、社会は拒絶する傾向がある。それから、葛藤がある。キャラクター間の社会的相互作用があるからキャラクター間の社会的相互作用が互いに影響を及ぼし合うことを証明できる。

DAFTAR ISI

| | |
|---------------------------------------------------------------|-------------|
| HALAMAN JUDUL | i |
| HALAMAN PENGESAHAN | ii |
| HALAMAN PENGESAHAN ORISINALITAS | iii |
| PERNYATAAN PUBLIKASI SKIPSI | iv |
| KATA PENGANTAR | v |
| DAFTAR ISI | viii |
| DAFTAR GAMBAR | x |
| BAB I PENDAHULUAN | 1 |
| 1.1 Latar Belakang Masalah | 1 |
| 1.2 Pembatasan Masalah | 6 |
| 1.3 Tujuan Penelitian | 6 |
| 1.4 Metode dan Pendekatan | 7 |
| 1.5 Organisasi Penulisan | 9 |
| BAB II KERANGKA TEORI | 10 |
| 2.1 Penyimpangan | 10 |
| 2.2 Psikologi Sosial | 14 |
| 2.3 Interaksi Sosial | 17 |
| 2.3 Contoh dampak dari kehamilan pada remaja di Jepang | 22 |
| BAB III INTERAKSI SOSIAL ANTAR TOKOH | 24 |
| 3.1 Sinopsis | 24 |
| 3.2 Faktor Penyebab Penyimpangan Tokoh Miki dan Satoshi | 27 |
| 3.2.1 Kelalaian orang tua dalam mendidik anak | 27 |
| 3.2.2 Perceraian orang tua | 31 |

| | |
|----------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 3.3 Interaksi Sosial Para Tokoh Didasarkan Pada Kehamilan Tokoh Miki | 33 |
| 3.3.1 Interaksi dengan keluarga | 33 |
| 1. Menggugurkan Kandungan | 34 |
| 2. Mempertahankan Kandungan | 40 |
| 3.3.2 Interaksi dengan pihak sekolah | 45 |
| 1. Teman-teman sekolah | 45 |
| 2. Pihak sekolah | 47 |
| 3.3.2 Interaksi dengan masyarakat | 48 |
| 1. Dokter..... | 48 |
| 2. Ibu hamil di rumah sakit | 50 |
| 3. Wartawan | 52 |
| 4. Ibu-ibu di lingkungan rumah Miki..... | 56 |
| 5. Petugas di Pemerintahan | 58 |
| 6. Orang-orang di kelas kehamilan | 59 |
| BAB IV KESIMPULAN | 61 |
| DAFTAR PUSTAKA | 64 |
| SINOPSIS | 66 |
| RIWAYAT HIDUP PENULIS | 70 |

DAFTAR GAMBAR

| | |
|---------------------------------------------------------------|-----------|
| GAMBAR 3.1 Surat dari Ibu Untuk Miki | 30 |
| GAMBAR 3.2 Miki Memandangi Seragam Sekolahnya | 39 |
| GAMBAR 3.3 Artikel Tentang Kehamilan Miki | 53 |
| GAMBAR 3.4 Ibu-Ibu Membicarakan Miki Di Belakang | 56 |
| GAMBAR 3.5 Ibu-Ibu yang Melihat Ke Arah Miki | 57 |
| GAMBAR 3.6 Petugas-Petugas Melihat Ke Arah Miki | 58 |
| GAMBAR 3.7 Ibu-Ibu Melihat Ke Arah Miki | 60 |

